

最優秀賞

硬貨より 取り出しやすい 一千元

(帯広市立翔陽中学校 荒木 壤太さん)

【講評】

人間の持つ見栄がテーマの作品。お札ばかり使って小銭がたまり、財布がパンパンになってしまっている御仁も案外多かろうと思います。(もつとも、見栄ばかりでなく、小銭を出すのが面倒くさいのもあるかもしれないね)。見栄を気にしすぎていろいろな災難にもあう羽目になることを戒める、そんな視点も持っている句と言えそうです。軽妙で思わずニヤリとってしまう作品でした。

優秀賞

詐欺の池 カモがスイスイ 泳いでる

(帯広市立翔陽中学校 宇野 みのりさん)

【講評】

詐欺の食い物にされる(喩)(ゆ)としての「かも」と、実際に池で泳ぐ鳥の「かも」を掛け合わせた川柳です。「詐欺の池」や「スイスイ」という言葉が軽やかで印象的でした。最優秀作品と同じく軽妙さがポイントとなる句として評価できました。

佳作

恋をした 会いにいったら 金消えた

(帯広市立翔陽中学校 後藤 あかりさん)

要りません！ 結構ですじゃ 帰らない

(帯広市立翔陽中学校 森田 朝陽さん)

文字よりも 直接伝える メッセージ

(帯広市立帯広第四中学校 三城 日向大さん)

最優秀賞

乱れ咲く 花火が照らす ゴミの山

(北海道帯広農業高等学校 児玉 一晴さん)

【講評】

「乱れ咲く」のが「花火」と「ゴミ」の両方にかかっているのが見事でした。花火の美しさの下、ゴミが山のように溜まっていく光景を見つめることで、人間の一番気をつけなければいけない点、すなわち目に見えない物事をしっかり見極めるといふ観点が明確に現れていると思えました。作者は花火の美しさだけに目を奪われるのではなく、その下にある人のへどうしようななさ」に目を向けている、そんな態度に感銘を受けました。

優秀賞

素っ気なく つぶやく言葉で 乱れる輪

(北海道帯広農業高等学校 武田 かざりさん)

【講評】

先日の北海道胆振東部地震の時に、インターネット上を通じていろんなデマが横行しました。SNSの負の要素が前面に出してしまった印象です。もっとも、SNSのおかげで支えられた方々も多くいるので、結局は使い次第であると思います。何気ない些細な一言が「乱れる輪」と表現されているように人と人の関係を乱していく、換言すればつぶやきが大きな影響を与えるという「小」と「大」の関係性を風刺として表現したといえるでしょう。お互い肝に銘じたいものですね。

佳作

文字を打つ 君の表情 伝わらず

(北海道帯広農業高等学校 加藤 光希さん)

どこみてる 怒鳴る2人の 手にスマホ

(北海道帯広農業高等学校 牧野 永遠さん)

インスタ映え 狙う物ほど 味微妙

(北海道帯広農業高等学校 安保 晴海さん)